

「賀川豊彦の妻」と「朝ドラヒロイン」たどる

神戸ゆかりの社会活動家賀川豊彦の妻ハルと、NHK連続テレビ小説「花子とアン」のモデル村岡花子の人生をたどる特別展が2日、神戸市中央区の賀川記念館で始まった。2人は生前、浅からぬ縁があった親戚。ドラマには豊彦やハルは登場しなかったが、同館は「2人の関係を通して、ハルの存在を知ってほしい」とPRする。

(黒川裕生)

□神戸・賀川記念館□

ハルと花子の特別展

豊彦と共に貧しい人々の救済などに尽くしたハル。「赤毛のアン」の翻訳で知られ、ドラマで注目を集める花子の夫は、ハルのいとこに当たる。

資料を借りたい」と連絡があった。花子の孫もあいさつに訪れたといい、機運は盛り上がる一方だった。

「いやもうガックリや」。同館参事の西義人さん(71)は、苦笑いを浮かべた。

ところが義父の逝去は8月、ナレーションであっさり済まされた。西さんは「登場は確実だと思っていたのに」とため息をつく。

史実では花子の義父の葬儀が横浜市で営まれた際、司式(司会)を豊彦が担当し、ハルも同行。義父はドラマで存在感を日々強めており、同館関係者は「全国放送で賀川夫妻に光が当たるチャンス」とその時を待ち焦がれていた。

それでもドラマにあやかり準備を進めてきた「花子とハル展」は予定通り開催。2人の写真をはじめとする50点以上のパネル展示を通じ、知られざる共通点に迫る。花子の義父の葬儀が営まれた教会の写真も並んでいる。

資料館(東京)には今年3月、かつて花子が勤めた出版社から「花子の特別展を開くので

ハルの人生知って



村岡花子(パネル右)と賀川ハル(同左)の特別展を始めた賀川記念館の関係者ら。神戸市中央区吾妻通5

日本の助け合いの文化を賀川豊彦と一緒に作ってくれたハルさん

日本の子どもたちに愛の意味を物語を通じて教えてくれました

浅からぬ縁「同時代に活躍、注目を」

特別展に携わった伊藤潤子(66)は「花子とハル展」まで(月曜休館)。賀川記念館078・221・362として活躍したハルにも注目し